

「外国の非政府組織(NGO)が政府の許可を得ようとすれば一、二年かかるのに、僕たちは一時間。政府が応援してくれたのが何よりうれしかった」

ミャンマー政府軍の攻撃でバングラデシュに脱出したロヒンギャ族は約二十三万人。半数は竹と枯れ葉の小屋に住んでい

国のイギリスに留学する医師が最も多い。「イギリスとは約二

百年間深い関係にあったが、何も変わらなかった。留学した医師も九五%は帰ってこない。国を発展させたい、同じアジア人ができることなら、僕たちにも

と思ひ、日本を選んだ」  
病院の看護婦にAMD Aを教



アジア三カ国医師団を結成した

サルダール・  
ナイームさん

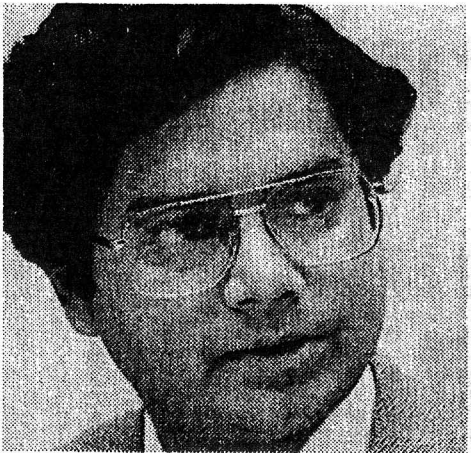
た。アジア十三カ国、約四百人の医師でつくる「アジア医師連絡協議会」(AMD A、菅波茂代表、岡山市)の日本、バングラデシュ、ネパールの合同医師団第一次隊として四月に現地入り、子供の寄生虫駆除プロジェクトに取り組みことを決めた。現在医師五人、今月末、日本から看護婦が加わる。

バングラデシュでは、旧宗主

えられ、一九八九年夏、日本に留学中の同国人医師五、六人でAMD Aバングラデシュを組織。合同医師団の緊急救援は、母国での初プロジェクトにあたる。

「AMD Aはアジア全体から見れば小さな存在。でも、一緒に働くヘルスワーカーや医師が、また活動を広げてくれる。今、始まったばかりなんです」

(小島 明日奈)



Sarder Abdun Nayeem ダッカ大卒。1987年10月から東大病院に留学中。「AMD Aミャンマー難民」の募金郵便振替は岡山5—44380。30歳。